

第2回生命の海科学館見直し検討委員会準備会記録

[開会 午後1時58分]

議題

- 1 検討委員会の構成及び選出・募集の方法等について
- 2 要綱案の作成について

〔議題1、議題2を一括議題として協議〕

〔要綱案は、準備会として検討委員会へ提案するための案で、承認・決定は検討委員会で行われる旨を会長が説明〕

〔要綱案を事務局が読み上げる〕

(協議)

会長

審議は、要綱案の第3条「協議事項」、第4条「委員会の構成等」を中心をお願いしたい。

委員

委員の構成例として、このまま準備委員会の委員になる、新たに委員を加える、まったく別の委員を選ぶという3つの例があるが、2つ目の「準備会の委員に新たな委員を加える」という形が良いと思う。

委員

委員の数について、何人くらいというのはあるのか。

会長

特にない。ここで審議していただきたい。

委員

私も新たな委員を加えるというのが一番妥当かなと思う。人数が多すぎると日程調整も困難。細かいことはアンケートといった方法で行えば良いと思う。

委員

私も委員については、少数精鋭のほうが良いと思う。

会長

事務局は何か案を持っているのか。

事務局

あくまでもたたき台のための案としてお考えいただきたいが、

1. この施設は「情報ネットワークセンター」という情報機能の部門と「生命の海科学館」という科学館部門の複合施設であり、これが互いに入り組んだものとなっているため、IT分野の方に参加していただく。
2. 科学館が観光という位置づけもあるため、観光分野の方に参加していただく。
3. 地元経済界・産業界の方に参加していただく。
4. 現在の委員は男性ばかりであるが、市民のおよそ半分は女性であるため女性の方に参加していただく。
5. 地域を代表する方に参加していただく。

以上の5つの分野の方に参加していただく方法もあろうかと思う。

会長

事務局にたたき台として案を挙げてもらったが、委員の皆さんの考えでまとめていきたい。意見を伺いたい。

委員

委員の人数については、会長と事務局で話し合っ決めてもらえばよい。

委員

まず、準備会の委員に新たな委員を追加することで良いかお諮りいただきたい。事務局の案は、その案の承認を前提としたものである。

会長

それではお諮りする。現在の準備会のメンバーに加えて若干、本委員会においてはメンバーを増強するという形でよろしいか。

〔異議なし〕

委員

事務局案では、4、5人増えることになるが、増やす人数はどうするのか。

会長

いまから協議していただきたい。事務局の案についてご意見をいただきたい。

委員

産業界、観光分野は必要。また、市民代表を含め外部メンバーが少ないことから、事務局の示した案程度のメンバーは入れたほうが良いと思う。

委員

観光、経済・産業、女性、ここまでは絶対必要だと思う。それから教育委員会としては文化協会から1名入れてほしいと思う。

委員

人数については、先ほど申し上げたように会長と事務局で話し合ってもらえばよい。

委員

(事務局の案で)異議なし。

会長

皆さん5分野の方の増員に異議はないようだが、文化協会の代表1人を加えるという案についてはどうか。

委員

幅広い意見を集約するという点では良いと思う。ただ、教育への活用が進められているので、学校等、実際に活用する現場の方の意見を聞けると良いと思う。

委員

少数精鋭が私の考えだが、会長にお任せする。

会長

それでは、事務局の案の5名に文化協会から1名を加えることで良いか。

委員

プラス1名でなくても文化協会から女性をとという考え方も良い。文化協会は女性が活躍されており、一般の方である。

会長

一般の女性を募集する形と文化協会から女性が出れば良いのではという話が出た。文化協会から女性を推薦していただくということで良いか。

〔異議なし〕

会長

それでは、1から5の代表の方、4の女性代表については、文化協会から推薦をいただくという形をとりたいと思う。

推薦ばかりという形になるが、公募という点について事務局は問題ないか。

事務局

現在の公募委員が男性2人であるため、女性代表は公募を想定していたが、委員提案の方法でもかまわない。公募にこだわるかどうかである。

ところで、学校現場の方からもという委員の意見があったがどうするのか確認したい。

委員

今後の検討の中で利用の仕方とか考えなどの意見を聞くことが出来ればよい。

委員

オブザーバー的な形で入ってもらえばどうか。

委員

学校現場の声については、教育委員会代表としての委員を通して反映できると思う。

委員

現場の声が反映されてくればいい。こだわることはない。

事務局

必要があれば学校現場の方にも事務局側に座っていただくということにしたい。

ところで、各分野の代表の選出先について事務局で想定したものがあるので、ご協議いただきたい。

- ・IT分野 地元の愛知工科大学に推薦を依頼。
- ・観光業界 市観光協会に推薦を依頼。
- ・地元経済・産業界 商工会議所に推薦を依頼。
- ・地域代表 総代連合会に推薦を依頼。
- ・女性代表 今の議論から文化協会に推薦を依頼。

会長

事務局からの説明に意見があればお願いしたい。

委員

今の説明の形で良い。

〔異議なし〕

会長

異議がないようなので、事務局はそのように進めていってもらいたい。

要綱案のそのほかの部分について、何か意見があればお伺いする。

委員

確認するが、検討委員会は「生命の海科学館」と「情報ネットワークセンター」を一緒に考えた検討委員会ということか。

会長

「生命の海科学館見直し検討委員会」であり、情報ネットワークセンターは別。

委員

検討委員会を始めていくにあたり、変更・廃止等に係る郵政省（現：総務省）からの補助金の問題と、設計者との条件をはっきりする必要があると思うがどうか。

事務局

補助金については、現段階では、補助目的から逸れれば何らかのペナルティを受ける可能性があるということまでである。ある程度考えがまとまった段階で具体的に照会しないと的確な回答を得るのは難しい。

設計者の著作権についても、協議であるので、具体的な内容でなければ的確な回答はいただけないと思う。

会長

ほかに意見は。

〔なし〕

会長

それでは、今協議していただいた内容で準備会としての検討委員会要綱案としたい。異議がなければ拍手でご承認願いたい。

〔拍手承認：検討委員会要綱案決定〕

3 その他

〔市長への報告等について〕

- ・ 今回の会議記録等の委員確認後、市長とスケジュールを調整し、会長と副会長で市長へ準備会の協議結果報告を行う。
- ・ 各団体への推薦依頼もあるため、検討委員会の立ち上げは新年度に入ってからとする。

[閉会 午後2時35分]